

ユニファイド・コミュニケーションの導入方針について

新区役所整備を契機とした新しい働き方の実現のため、これまで導入を検討してきたユニファイド・コミュニケーションについて、複数の製品について機能等を比較した結果、以下の順位にて導入の検討を進めることとした。

1 製品選定順位

第一順位

多機能ユニファイド・コミュニケーション【Microsoft365】

第二順位

ユニファイド・コミュニケーション【Cisco Jabber 及び Cisco WebEx】

2 選定理由

区は、新区役所整備を契機として、組織横断的なプロジェクト型の働き方や場所にとらわれない働き方を取り入れるとともに、生産性の向上や業務の迅速化・適正化を図り、それにより生み出された時間を、政策形成に係る検討時間や、窓口対応や相談業務などに充てることで、さらなる区民サービスの向上を目指すこととしている。

また、24時間365日のシステム稼働や外部からの安全な接続に対応し、緊急時や災害時にも、業務を可能な限り継続できる体制を構築することが重要であると捉えている。

これらを実現するためには、以下の機能を持ったシステムが必要となる。

- | | |
|-----------------|------------------------|
| ・業務用チャット | リアルタイムでの端的なコミュニケーション |
| ・Web会議 | 離れた場所における複数人の対話、資料共有等 |
| ・電話統合 | 自席にとらわれず電話(内線・外線)を受け取る |
| ・会議録自動作成 | 会議の自動文字起こし |
| ・24時間365日利用 | 緊急時や災害時等の資料作成、連絡等 |
| ・モバイルワーク対応 | 区施設外における連絡、資料作成・修正等 |
| ・ファイル複数人同時編集 | 複数人で話し合いながらの資料作成、分業作成等 |
| ・アプリケーション作成機能 | 単純業務の自動化・効率化 |
| ・BIツール(データ分析機能) | 根拠に基づいた政策形成等 |

現在検討中のシステム構成において、第一順位及び第二順位の製品は共にユニファイド・コミュニケーションの基本機能となる業務用チャット、Web会議、電話

統合、会議録自動作成が可能となるが、第一順位の製品については、さらに区が必要とする機能が一つのシステムで効率的に連携した形で利用できるようになるため、上記の選定順位とした。

3 導入スケジュール（予定）

令和3年12月 導入方針決定

令和4年度 インターネットデータセンター更新
ユニファイド・コミュニケーション構築開始

令和5年度 ユニファイド・コミュニケーション試験運用開始

令和6年5月 区役所新庁舎への移転
本格運用開始